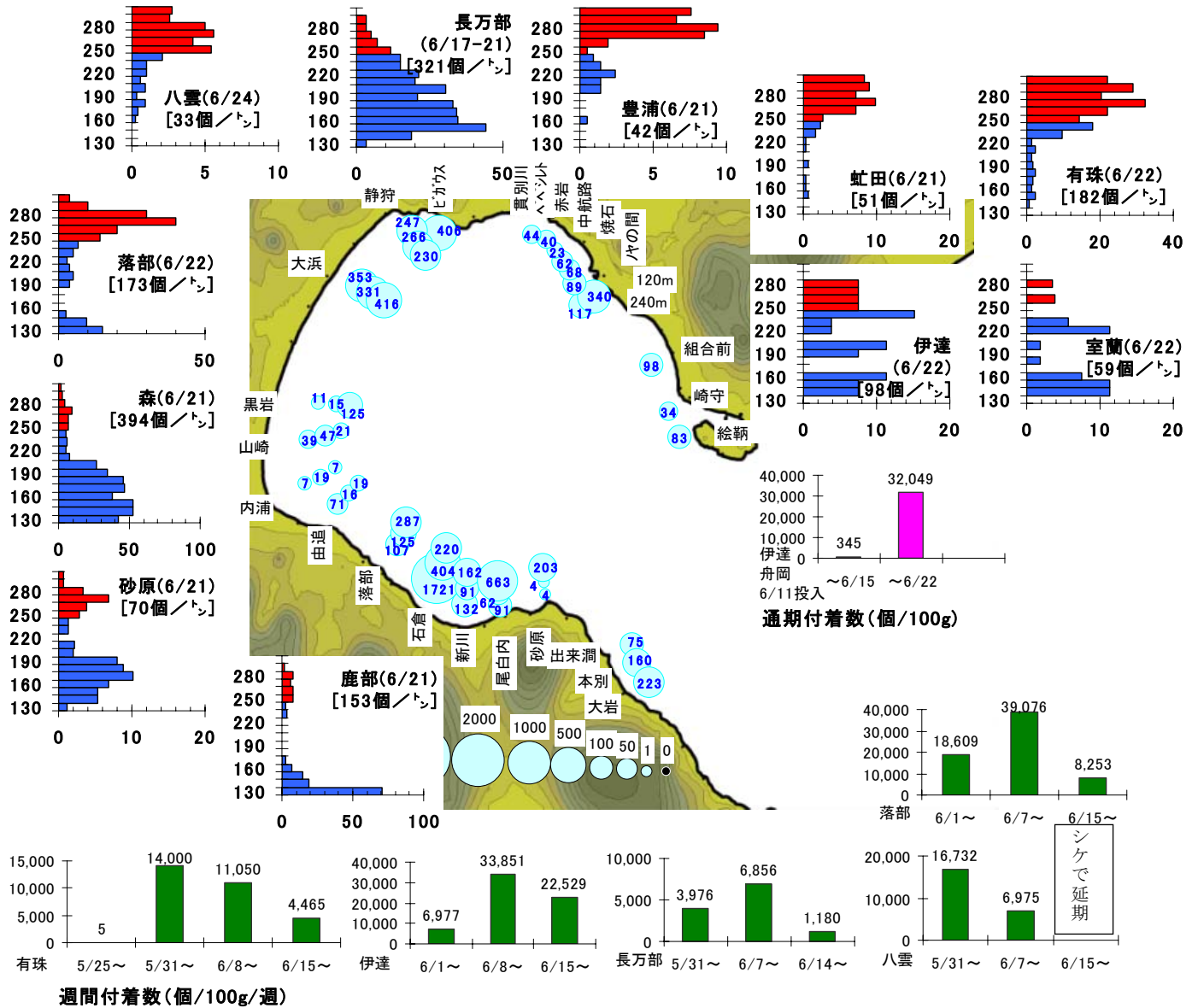


第8回噴火湾ホタテガイ情報(2010年)

発行日：平成22年6月25日

函館水産試験場・栽培水産試験場・釧路水産試験場
胆振・渡島北部・渡島中部地区水産技術普及指導所

図1. 浮遊幼生分布状況(6/17-6/24) ・丸の大きさと添付数字は幼生密度(個/トッ)



概要

6月17~24日に各地区指導所により、噴火湾沿岸部の浮遊幼生調査および付着数調査が行われました。浮遊幼生の分布密度は、三週間前の調査から徐々に低下し、胆振側では23~340個/トッ、渡島側では4~1721個/トッになっています。サイズは胆振側では大型が多く、渡島側の長万部では小型も多く見られます。ホタテガイ浮遊幼生の出現は終盤を迎えたと考えられます。

週間付着数は、胆振側で4,465~22,529個/100g/週、渡島側では1,180~8,253個/100g/週と大量の種苗が付着しています。また、採苗作業の障害となるイガイの付着も多い状態が続いています。付着種苗のサイズは昨年よりも小さく、稚貝の採取時期は昨年より遅くなると予測されています。各地区指導所の採苗情報を参考に、採苗作業を続けてください。

胆振側の浮遊幼生調査は今回で終了、渡島側の浮遊幼生の調査は来週も予定されています。函館水試金星丸による全湾調査は7月5~7日に予定されています。

連絡先：函館水試 調査研究部 管理増殖グループ 馬場・渡野邊・菅原・金森

